

平成28年度 第1回 久留米市地域公共交通会議 議案等

《協 議》

- | | | | |
|---------------|---|-------|-----|
| <u>協議</u> 第1号 | 平成27年度久留米市地域公共交通会議決算について | ----- | P 1 |
| <u>協議</u> 第2号 | 平成28年度久留米市地域公共交通会議事業計画及び予算案について | ----- | P 4 |
| <u>協議</u> 第3号 | 平成29年度久留米市生活交通確保維持計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）の策定について | ----- | P 7 |
| <u>協議</u> 第4号 | 国分線の一部廃止について | ----- | P 8 |

《報 告》

- | | | | |
|-------|---|-------|------|
| 報告第1号 | 「よりみちバス」の利用状況について | ----- | P 11 |
| 報告第2号 | 久留米市地域公共交通網形成計画の達成状況について | ----- | P 15 |
| 報告第3号 | 平成28年度久留米市生活交通確保維持改善計画（地域公共交通バリア解消促進等事業）の策定について | ----- | P 17 |

協議第 1 号

平成 27 年度久留米市地域公共交通会議決算について

久留米市地域公共交通会議財務要領第 8 条第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の久留米市地域公共交通会議決算について、別紙のとおり承認を求める。

平成 28 年 6 月 24 日提出

久留米市地域公共交通会議
会長 深井 敦夫

平成27年度久留米市地域公共交通会議決算について

1. 歳入

款	項	予算案 A	収入済額 B	差引増減 B-A	備考
1負担金	1負担金	2,960,000	1,199,826	▲ 1,760,174	事務費 3,456 事業費 1,196,370
2補助金	1補助金	8,908,000	8,249,975	▲ 658,025	国庫補助(増減は実績精算に基づく)
3繰越金	1繰越金	0	0	0	
4諸収入	1預金利息	0	261	261	
	2雑入	0	0	0	
歳入計		11,868,000	9,450,062	▲ 2,417,938	

【補助金内訳：確定額】（平成27年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金）

- ① 地域公共交通調査事業（再編計画策定事業） 7,053,605円
- ② 地域公共交通調査事業（計画推進事業） 1,196,370円

2. 歳出

款	項	予算案 A	流用額 B	決算額 C	差引増減 A+B-C	備考
1運営費	1会議費	0	0	0	0	会議費は久留米市会計より支出
	1事務費	10,000	0	3,456	6,544	委託費振込手数料
2事業費	1事業費	11,858,000	0	9,446,345	2,411,655	形成計画、再編実施計画委託費
	2事業費補助	0	0	0	0	
3予備費	1予備費	0	0	0	0	
歳出計		11,868,000	0	9,449,801	2,418,199	
次年度繰越金		0	0	261	▲ 261	
歳出合計		11,868,000	0	9,450,062	2,417,938	

【事業費内訳：確定額】

- ① 久留米市地域公共交通再編実施計画（素案）修正業務 4,444,200円
- ② 北野線社会実験運行業務 2,609,405円
- ③ 久留米市広域連携中枢都市圏公共交通マップ作成業務 1,499,040円
- ④ 久留米路線バス利用促進事業ポスター等作成業務 893,700円

歳入合計 9,450,062円－歳出（含繰越）合計 9,450,062円＝残高0円

3. 監事による会計監査

久留米市地域公共交通会議設置要綱第9条第3項に基づく会計監査

○監査日：平成28年5月31日、6月1日


○監事：久留米市校区まちづくり連絡協議会長 吉田 輝彰
：久留米商工会議所中小企業相談所地域振興課長 古家 美恵子

監査報告書

久留米市地域公共交通会議設置要綱第9条第3項の規定により、平成27年度久留米市地域公共交通会議の会計事務について監査を行った結果、計数は正確であり、適切に執行されていることを認めます。


平成 28 年 5 月 31 日

久留米市地域公共交通会議

監事 古家美恵子 

平成 28 年 6 月 1 日

久留米市地域公共交通会議

監事 吉田輝彰 

協議第 2 号

平成 28 年度久留米市地域公共交通会議の事業計画及び予算について

久留米市地域公共交通会議財務要領第 2 条第 2 項の規定に基づき、平成 28 年度
久留米市地域公共交通会議の事業計画及び予算について、別紙のとおり承認を求め
る。

平成 28 年 6 月 24 日提出

久留米市地域公共交通会議
事務局長 上村 一明

平成28年度久留米市地域公共交通会議の事業計画及び予算について

1. 事業計画

久留米市地域公共交通網形成計画に基づき、以下の事業を実施する。

- ① 市街地フリー乗車券等の導入の検討
- ② 企画乗車券等の新設（バスパック事業）
- ③ 公共交通に関する分かりやすい情報提供の実施（公共交通マップ）
- ④ 久留米市地域公共交通再編実施計画策定

1) 市街地フリー乗車券等の導入の検討 参考資料2参照

【概要】 中心拠点の賑わい拡大と運賃負担感の軽減を目的として平成28年3月26日より販売を開始した「久留米路線バス1日フリー乗車券」の利用促進を交通事業者と図るとともに、利用状況などの分析を行い、本格導入に向けた検討を進める。

【事業費】 0千円

2) 企画乗車券等の新設（バスパック事業） 参考資料2参照

【概要】 公共交通の新たな利用需要の獲得に向けて平成28年3月31日よりバス車内での特典付リーフレットの配布を開始した「くるめ日帰りバスパック」の利用促進を交通事業者と図るとともに、利用状況などの分析を行い、内容の見直しや新規企画の立案を行う。

【事業費】 0千円

参考資料2参照

3) 公共交通に関する分かりやすい情報提供の実施（公共交通マップ）

【概要】 久留米市の地域公共交通に関する情報を分かりやすく整理した「公共交通マップを作成（更新）し、前述したモビリティ・マネジメント施策などで活用するとともに、公民館や行政窓口などで広く配布することで、公共交通の利用促進を図る。

【事業費】 1,500千円（平成29年度版への更新と印刷費用）

(補足)地域公共交通再編実施計画：具体的な実施計画（路線、ダイヤの見直しや新たなサービスの導入など）を記載した計画

4) 久留米市地域公共交通再編実施計画策定 参考資料2 参照

【概要】久留米市地域公共交通網形成計画に示した将来あるべき公共交通網を実現するため、関係する交通事業者と協力して久留米市地域公共交通再編実施計画を策定する（昨年度実施した久留米市地域公共交通再編実施計画（素案）修正業務を基に関係者と調整中）。

【事業費】 0千円

2. 予 算

1) 歳 入

款	項	金 額(単位:円)
1 負担金	1 負担金	1, 553, 000
2 補助金	1 補助金	0
3 繰越金	1 繰越金	261
4 諸収入	1 預金利息	0
	2 雑入	0
歳入合計		1, 553, 261

○負担金は、久留米市負担金

2) 歳 出

款	項	金 額(単位:円)
1 運営費	1 会議費	43, 000
	2 事務費	10, 000
2 事業費	1 事業費	1, 500, 000
	2 事業費補助	0
3 予備費	1 予備費	0
次年度繰越		261
歳出合計		1, 553, 261

○事業内訳 会議費のうち委員への謝金、費用弁償は久留米市会計より支出

- ①市街地フリー乗車券等の導入の検討 0円
- ②企画乗車券等の新設（バスパック事業） 0円
- ③久留米広域連携中枢都市圏地域公共交通マップ更新 1, 500, 000円
- ④久留米市地域公共交通再編実施計画策定 0円

協議第3号

平成29年度久留米市生活交通確保維持改善計画
(久留米市地域内フィーダー系統確保維持計画)の策定について

平成29年度久留米市生活交通確保維持改善計画(久留米市地域内フィーダー系統確保維持計画)の策定について、別紙(資料2)のとおり承認を求める。

平成28年 6月24日提出

久留米市地域公共交通会議
会長 深井 敦夫

協議第 4 号

国分線の一部廃止について

国分線の一部廃止について、別紙のとおり承認を求める。

平成 28 年 6 月 24 日提出

久留米市地域公共交通会議
会長 深井 敦夫

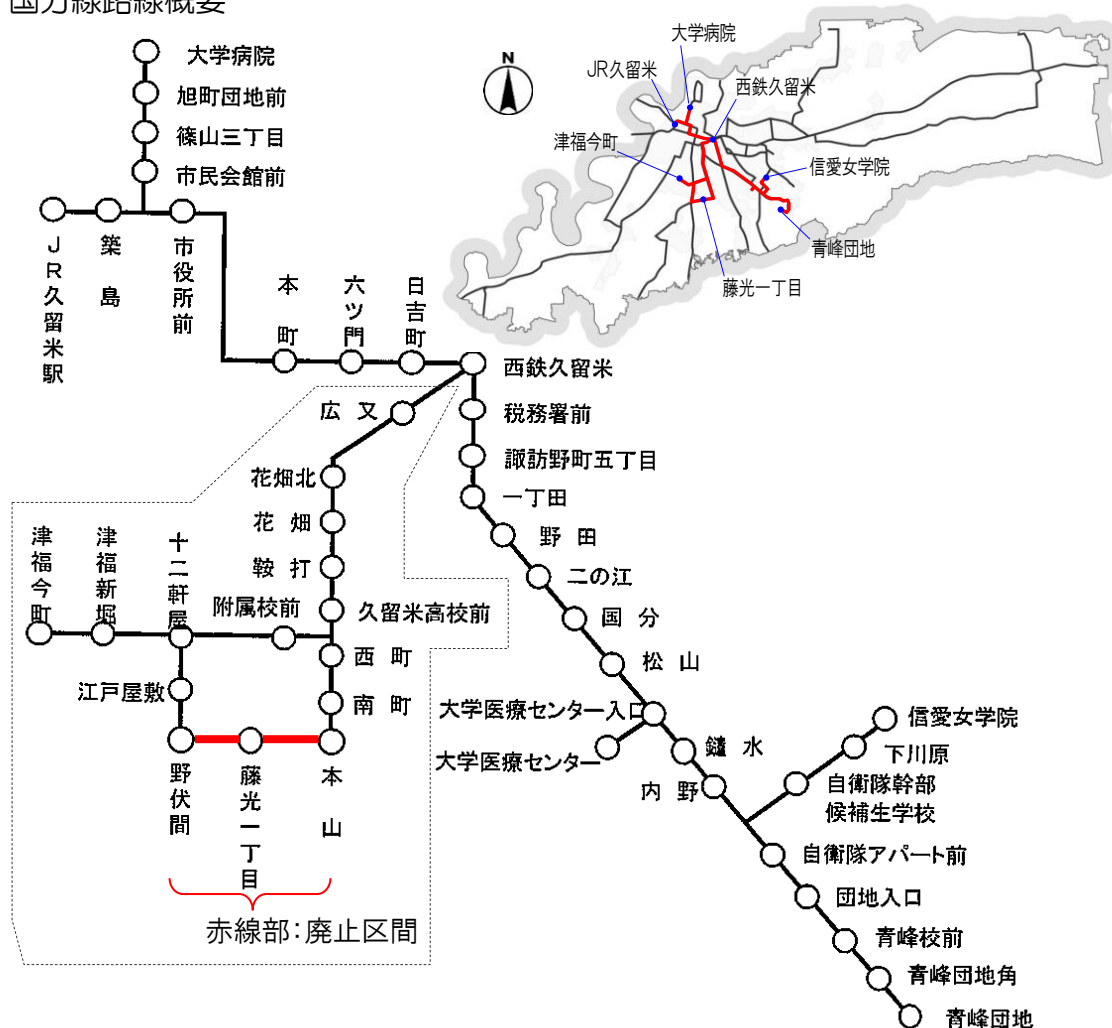
国分線の一部廃止について

1. 協議事項

西日本鉄道株式会社が運行するバス路線（国分線）のうち、一部（本山～野伏間）を廃止することに対して承認を求めるもの

2. 路線概要、廃止区間及び運行状況

1) 国分線路線概要



2) 廃止区間

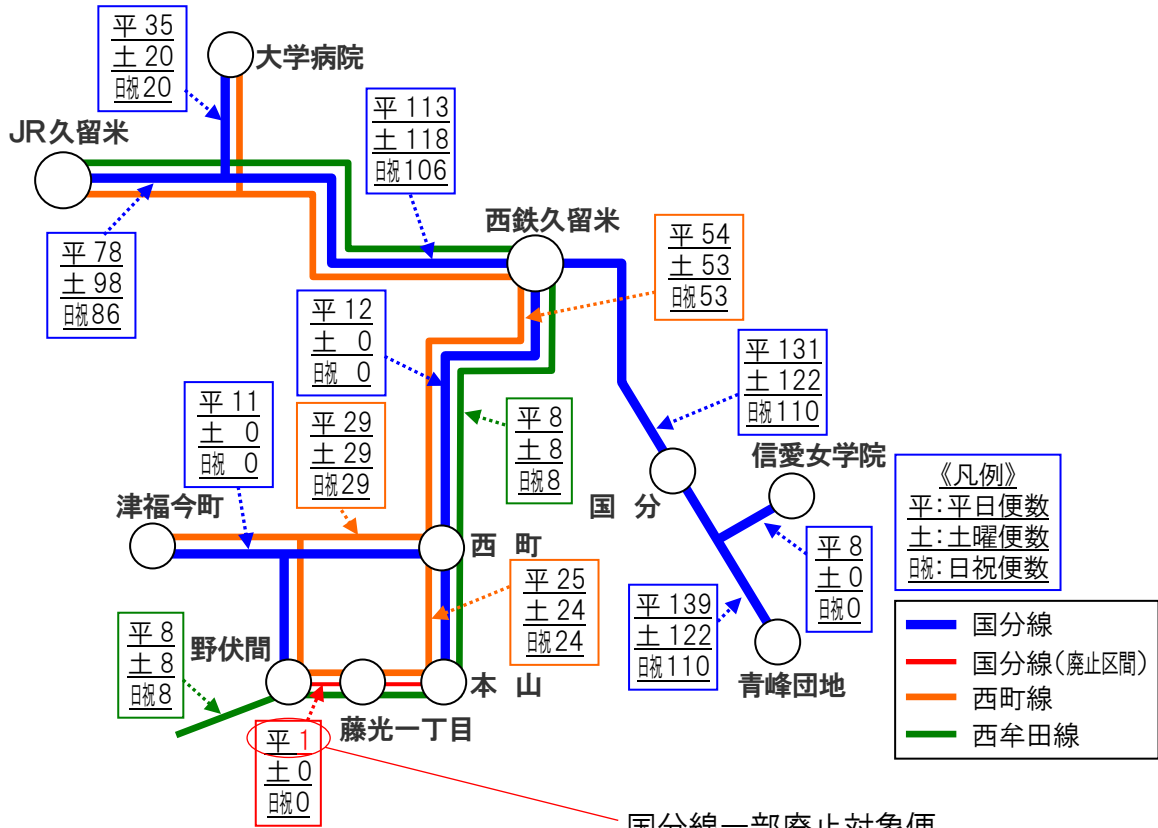
路線名	廃止区間	廃止キロ	廃止予定日
国分線	本山～野伏間	0.83km	平成28年10月1日

※廃止区間には、西日本鉄道(株)の路線と西鉄バス久留米(株)の路線が重複しており、今回は西日本鉄道(株)の路線を廃止する(西鉄バス久留米(株)の路線は存続)

3) 廃止理由

利用者減少に伴う運行計画の見直し

4) 運行状況



藤光一丁目 停留所時刻表(平日)

行先	JR久留米駅	西鉄久留米駅	大学病院	JR久留米駅
行先番号	52	52	52	55
6時	21 47			23
7時	59			
8時	35	33	31	
9時	26			12
10時	06 46			
11時			08	
12時		58		12
13時				
14時				53
15時				
16時		23 56		
17時				
18時				
19時				
20時				

野伏間方面

行先	JR久留米駅	西鉄久留米駅	津福今町	羽犬塚駅前
行先番号	51	51	51	55
6時				
7時				49
8時				
9時				
10時				
11時				
12時			38	20
13時	14			
14時	24			
15時			44	20
16時	04			
17時	34		59	
18時			29	14
19時		14	29 54	
20時		20	55	

行先番号
 51 52 : 西町線
 55 : 西牟田線
 (西町線の輸送力を補う
 目的で国分線の一部
 車両が西町線として運
 行)

【参考】
 国分線一部廃止
 による影響人員
 ○国分線総利用人員
 2,787人
 ○一部路線廃止区間の
 利用人員(国分線利
 用者):影響人員
 12人
 (0.4%)
 ※H27年10月調査時

報告第1号

生活支援交通「よりみちバス」の利用状況について

生活支援交通「よりみちバス」の利用状況について、別紙のとおり報告する。

平成28年 6月24日提出

久留米市地域公共交通会議
会長 深井 敦夫

生活支援交通「よりみちバス」の利用状況について

1. 生活支援交通「よりみちバス」について

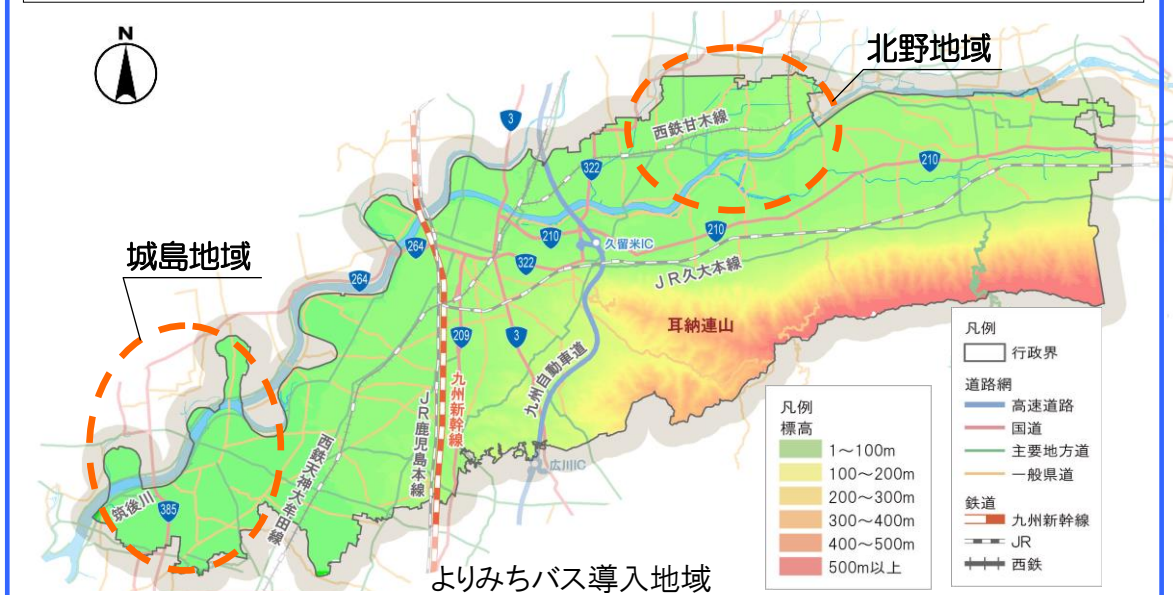
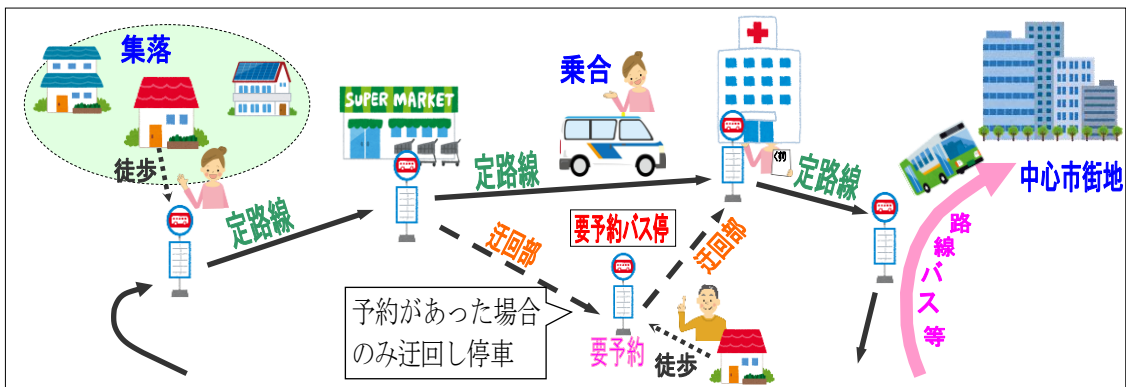
久留米市では、公共交通の利用が不便な地域に対して、コミュニティバスを基本とした生活支援交通「よりみちバス」の導入を進めており、平成27年度には北野地域、城島地域で運行を開始している。

「よりみちバス」の導入や運営、利用促進に関しては地元の検討組織である生活交通検討会（委員：校区コミュニティ組織代表、児童委員・民生委員、利用者代表〔女性の会、老人会等〕、地域商工会など）で行っており、平成28年度は両地域での制度周知や利用促進、制度見直しを進めることにしている。

『よりみちバス』の特徴

- ① 通常は路線バスと同じく、決まった路線を決まった時間に運行
- ② 決まった路線のバス停以外にも「よりみちバス停」を設置することが可能
- ③ よりみちバス停での利用がある場合は、迂回して運行
- ④ 既存路線バスや鉄道に接続し、中心市街地等へ乗り継いで行ける

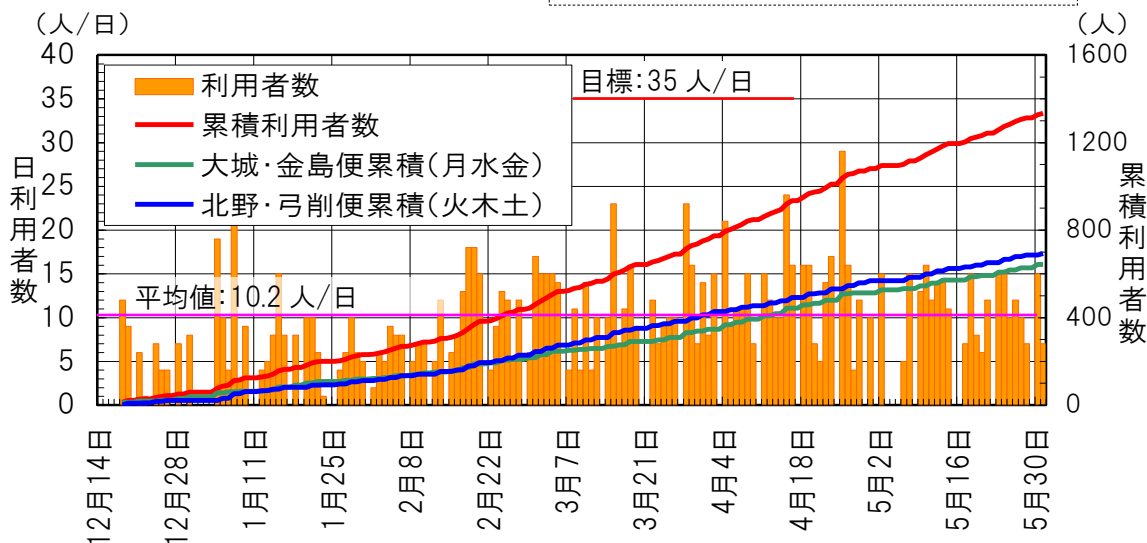
『よりみちバス』運行イメージ



1. 北野地域よりみちバス（コスモス号）

○運行開始日：平成27年12月18日
 ○H28.5.31 までの運行日数：131日

1) 利用者数の推移



月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
平均利用者	5.8人	7.5人	8.9人	11.8人	13.2人	11.0人
10.2人/日（総運行日数131日）						

2) 支払い種別

1日乗車券	200円(通常料金)	100円(割引料金)	合計
1,003人(75%)	209人(16%)	122人(9%)	1,334人

3) 停留所の利用状況

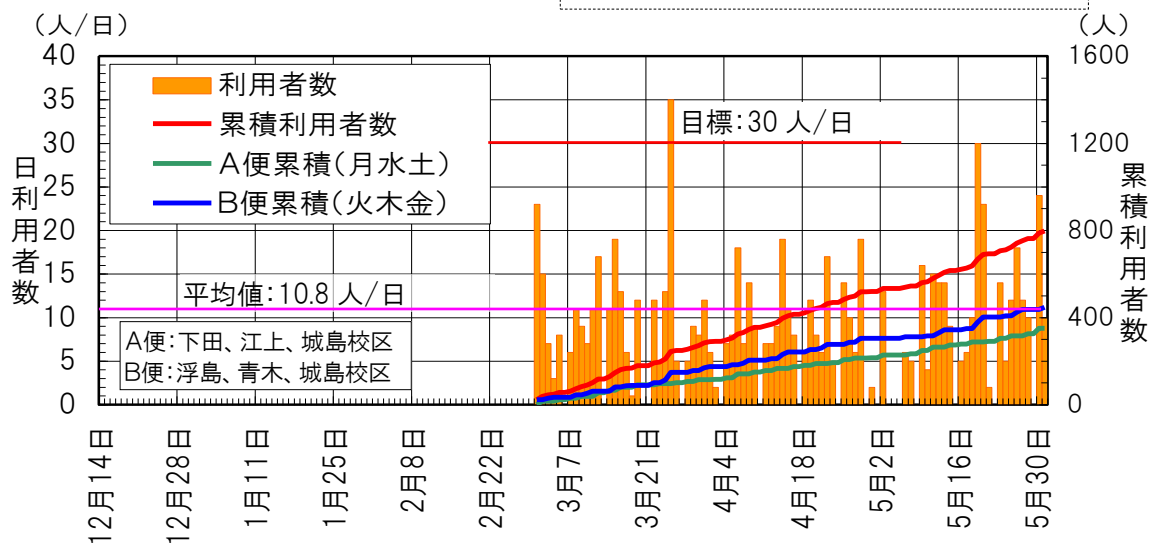
停留所名 (利用の多い順に20位まで抽出)	種別	利用 可能日	乗降者数 (人)	運行日 当たり 乗降者(人)	
1位	コスモすまいる北野	公共施設	全日	402	3.1
2位	高良南(ドラッグコスモス、モリ)	商店	全日	243	1.9
3位	高良北(ザ・ビッグ、コメリ)	商店	全日	240	1.8
4位	Aコープ大刀洗店	商店	隔日	207	3.2
5位	プラザ善導寺	商店	隔日	174	2.7
6位	大城ますかげセンター	公共・居住	隔日	171	2.6
7位	安永公民館前	居住地	隔日	132	2.0
8位	灰塚橋(十郎丸団地)	居住地	隔日	62	0.9
8位	北野体育センター前	公共・病院	全日	62	0.5
10位	西石崎	居住地	隔日	58	0.9
11位	田中まさはるクリニック	病院	全日	57	0.4
12位	弓削コスモス館	公共施設	隔日	55	0.8
12位	大城駅	駅	隔日	55	0.8
14位	高良2区公民館	居住地	隔日	53	0.8
14位	古賀茶屋駅	駅	隔日	53	0.8
16位	新神代病院	病院	隔日	45	0.7
17位	JAみい北野東部支所	金融・居住	隔日	44	0.7
18位	北野老人いこいの家	公共・居住	隔日	35	0.5
19位	金島駅前	駅	隔日	30	0.5
19位	北野駅・生涯学習センター-入口	駅・公共	隔日	30	0.5

※未利用停留所：15(総停留所<89>の17%)

2. 城島地域よりみちバス（インガット号）

○運行開始日：平成28年3月1日
○H28.5.31 までの運行日数：74日

1) 乗降者数の推移



月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
平均利用者				10.9人	9.5人	12.0人
10.8人/日（総運行日数74日）						

2) 支払い種別

1日乗車券	200円(通常料金)	100円(割引料金)	合計
531人(67%)	192人(24%)	74人(9%)	797人

3) 停留所の利用状況

停留所名 (利用の多い順に20位まで抽出)	種別	利用 可能日	乗降者数 (人)	運行日 当たり 乗降者(人)
1位 アスタラビスタ城島店	商店	全日	244	3.3
2位 萬年内科	病院	全日	166	2.2
3位 城島総合支所	公共施設	全日	150	2.0
4位 犬塚駅	駅	全日	111	1.5
5位 城島げんきかん	公共施設	全日	81	1.1
6位 小島	居住地	隔日	62	1.7
7位 中町整骨院	病院	隔日	47	1.3
8位 浮島校区コミュニティセンター	公共・居住	隔日	44	1.2
9位 西青木公民館	居住地	隔日	41	1.1
10位 古町公民館	居住地	隔日	38	1.0
11位 西ノ島	居住地	隔日	37	1.0
12位 城島中町	金融他	隔日	33	0.9
13位 青木島	居住地	隔日	31	0.8
14位 中小路住宅	居住地	隔日	29	0.8
15位 県営城島団地	居住地	隔日	27	0.7
15位 上野病院/原口医院	病院	隔日	27	0.7
17位 青木団地	居住地	隔日	26	0.7
17位 富田病院	病院	隔日	26	0.7
19位 平野	居住地	隔日	24	0.6
19位 津乗屋酒店前	居住地	隔日	24	0.6

※未利用停留所：27(総停留所<99>の27%)

報告第2号

久留米市地域公共交通網形成計画の達成状況について

久留米市地域公共交通網形成計画の達成状況について、別紙のとおり報告する。

平成28年 6月24日提出

久留米市地域公共交通会議
会長 深井 敦夫

久留米市地域公共交通網形成計画の達成状況について

■ 報告概要

久留米市地域公共交通網形成計画で設定した目標達成状況を評価するための数値指標の現況値（平成27年度末時点の数値）を報告するもの

■ 設定目標値と現況値

▼評価指標の定義と現況値・目標値 [目標年次:平成31年度末]

No.	評価指標	上段: 指標の定義	単位	計画策定時	H27年度末	目標値
		下段: 目標値設定の考え方				
①	市民の公共交通に対する満足度	○「市民意識調査」において、行政の取り組みについての満足度を問う設問のうち「バス・電車などの公共交通網の整備」に対する回答結果を得点化 ○満足度が全体値を下回る地域の値を全体値程度まで引き上げるものとして設定	-	3.23	未調査 H28年は調査実施	3.40
②	人口に対する市内主要鉄道駅の乗降客数	○市民一人当たりの市内主要駅（10駅） ※1の年間平均乗降回数 ○人口が減少していく中でも、現在の乗降客数を維持していくものとして設定	回/人・年	76	74 策定時より減少	80
③	中心拠点内の乗降客数割合	○市内の年間の公共交通総乗降客数に占める中心拠点内の乗降客数の割合 ※『都市機能誘導区域』指定エリアが明らかになった段階で目標値を設定する	%	-	未設定 (検討中)	-
④	久留米市の年間観光入込客数	○久留米市内の年間の観光入込客数 ○「久留米市観光・MICE 戦略プラン」における目標を踏まえて設定	万人/年	515	518 策定時より増加	700
⑤	公共交通空白地域の面積	○久留米市内における公共交通空白地域の面積※2 ○公共交通空白地域の5割に対して新たに公共交通サービスを提供するものとして設定	km ²	90	69 2地域によりみちバス導入	45
⑥	主要駅のバリアフリー化率	○市内の主要駅（12駅）※3のうち、バリアフリー化された駅の割合 ○新たに3駅のバリアフリー化を実施するものとして設定	%	33	33	58
⑦	久留米市の温室効果ガス排出量	○久留米市の年間の温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算） ※目標値は平成27年6月に国が発表した2030年度に向けた国内の温室効果ガス排出量削減目標値を踏まえて設定する	千t-CO ₂ 年	-	未設定 (検討中)	-
⑧	地域公共交通利用率	○市民一人当たりの地域公共交通の年間平均乗降回数 ○人口が減少していく中でも、現在の乗降客数を維持していくものとして設定	回/人・年	136	133 策定時より減少	143

※1: 中心拠点の拠点駅(JR久留米・西鉄久留米)、地域生活拠点の中心駅、鉄道路線の分岐駅を対象とする。

※2: 平成22国勢調査の500mメッシュデータで人口が1人以上となっているメッシュのエリアのみを対象とする。

※3: 中心拠点の主要駅(JR久留米・西鉄久留米・花畑・試験場前)、地域生活拠点の中心駅、鉄道路線の分岐駅を対象とする。

報告第3号

平成28年度久留米市生活交通確保維持改善計画
(地域公共交通バリア解消促進等事業)の策定について

平成28年度久留米市生活交通確保維持改善計画(地域公共交通バリア解消促進等事業)の策定について、別紙のとおり報告する。

平成28年 6月24日提出

久留米市地域公共交通会議
会長 深井 敦夫

平成28年度久留米市生活交通確保維持改善計画 (地域公共交通バリア解消促進等事業)の策定について

1. 報告事項

平成28年度久留米市生活交通確保維持改善計画(地域公共交通バリア解消促進等事業)を策定したので報告するもの

2. 計画概要

■ 久留米市生活交通確保維持改善計画(地域公共交通バリア解消促進等事業)

国庫補助である地域公共交通確保維持改善事業補助金のうち、地域公共交通バリア解消促進等事業に関して次に掲げる事項について記載したもの

- ①目的・必要性
- ②定量的な目標及び効果
- ③事業内容と当該事業を実施する事業者
- ④事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額
- ⑤計画期間

※平成28年度の補助金交付申請に使用するための事業計画として策定するもの

1) 久留米市の方針(目的・必要性)

久留米市は、超高齢社会に転じ、誰もが安全に乗降でき、快適・円滑に移動できる公共交通機関の環境整備が求められている。こうした中、基幹公共交通となる路線バスについても、今後も高齢化の進展に伴い、バリアフリー化に向けた車両や待合環境などの機能向上の必要性がますます高まるものと考えている。

特にバス路線が集中する西鉄久留米駅～JR久留米駅間のバス停は、本市の中心市街地に位置し、利用者の多いバス停であることから、バス待ちの快適性を向上させるとともに都市景観の向上、高齢者等の移動支援を図るため、景観に配慮した上屋やベンチ等を設置し、バス停の待合環境の向上を推進する。

2) 定量的な目標及び効果

①事業の目標

久留米市都市交通マスタープランにおいては、主要な施設が集積する西鉄久留米駅からJR久留米駅間においては、停留所の高規格化(待合環境の向上)を促進することとしており、利便性の高い停留所への改築を継続して実施する。

②事業の効果

多くのバス路線が停車し利用者も多い停留所を高規格化（機能性の高い上屋やベンチの整備）することにより、高齢者や障害者をはじめ、多くの路線バス利用者に対して待合環境の改善が期待される。

3) 事業内容と当該事業を実施する事業者

○停留所高規格化 1基（日吉町〔JR久留米方面〕）：西日本鉄道（株）

4) 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

単年度の事業費用、負担者及び負担額（平成28年度）

総事業費 割合	国費 割合	県負担 割合	市負担 割合	事業者負担 割合
5,677千円	1,892千円	0千円	1,892千円	1,893千円
100%	33.33%	0%	33.33%	33.34%

5) 計画期間

年次導入計画

	H28年度	H29年度	H30年度
	4月 7月 10月 1月	4月 7月 10月 1月	4月 7月 10月 1月
停留所 高規格化	● 8月1日 ● 3月31日		

※平成29、30年度の導入についても継続する方向で協議中